

包装技術力向上による事業競争力強化を目指す
新「包装技術センター」稼働のお知らせ

三菱電機ロジスティクス株式会社は、愛知県名古屋市に新たに建設した包装技術センターを、4月21日から稼働開始しますのでお知らせします。当社包装事業の技術的中核を担い、お客様の多様なニーズにお応えします。

(包装技術センターの外観)



(振動試験機)



新「包装技術センター」の概要

所在地	愛知県名古屋市東区矢田東4丁目33番地
構造・規模	鉄骨造、地上1階建て 床面積 340㎡
主な試験設備	振動試験機(供試品最大重量1,000kg、テーブル寸法1,500mm×1,500mm) 圧縮試験機(試験機最大荷重98kN、供試品最大高さ1,800mm) 落下試験機(供試品最大重量79kg、供試品最大落下高さ1,830mm) 万能材料試験機(試験機最大荷重49kN) 緩衝材試験機(最大重錘50kg、供試品最大落下高さ1,200mm)
投資額	約1.5億円
稼働日	2015年4月21日

背景と狙い

新「包装技術センター」は、当社名古屋事務所敷地内に新棟を建設したもので、尼崎にあった包装技術センターを移転し、大型の振動試験機を新設・汎用試験設備の制御系の一新などにより、包装技術力を向上するとともに、名古屋という立地環境を活かし、更なる包装事業の競争力強化を目指します。

また、当社物流技術部パッケージエンジニアリンググループを名古屋事務所に移動し、新「包装技術センター」との連携強化により、お客様の多様な幅広いニーズに対応します。